

迎春



おてら

飛雲閣
(国宝)

修復を終え再
び美しい姿を
水面に映す

使命

蒲原 霊英

グローバルという言葉は、先進的で格好良く感じられるかもしれませんが、実は、グローバル化を推し進めるグローバルizmと共産主義の根っこは同じです。グローバルizmとは、物、金、人の国境を超えた自由な移動を実現することによって、世界を自由市場経済で統一しようとする考え方です。他方、共産主義とは、財産の私有を否定して社会的平等を実現しようとする思想で、世界の共産主義で統一することを目指しています。また、グローバルizmの主役は、民間の国際金融資本や多国籍企業であり、彼らは政府の規制を排して自由に経済活動を行うことを求めています。他方、共産主義は、労働者の前衛を自称する共産党が、国家の上にあつて国家や人民を独裁的に支配する体制です。一見、グローバルizmと共産主義は正反対のように見えますが、双方とも、国民や国家を超えた国際性を有しながら、国家や政府の規制の及ばない独占的権力を保持している点で共通しています。加えて、共産主義者もグローバルistも唯物思想である為、市場競争であれ権力闘争であれ、勝った者が正義であり全てに君臨するという結論に行き着きます。結果、共に、一握りの特権階級と膨大な貧困大衆という二極化した社会構造が出来上がってしまいます。この歪みを修整しようとして、各国が脱グローバルizmを図っていたところに、新型コロナウイルスのパンデミックで、国家という枠組みの大切さが再認識されました。ところが、日本は未だにグローバル化を礼賛し、共産主義者と手を結ぶ者も見え隠れしている始末です。目指すは日本という国家の分断と解体。これは何としても阻止しなくてはなりません。

ナショナリズムに悪いイメージを持つかもしれませんが、日本古来の価値観やものの考え方を尊び、それらに基づく伝統や風習を大切に守りながら、日本人としての誇りを持って生きてゆくことです。日本は自然災害が多い反面、四季がはっきりとしており、私たちは折々に様々な恵みを享受する中で、あらゆるものに神が宿ると考え、畏れ、崇め奉って来ました。同時に、全ての生きとし生けるものに仏性（仏となり得る性質）が有ると考え、あらゆるいのちを最期まで大切にしながら、例えば筆塚や鯨塚等、丁寧に供養して手を合わせて来ました。自然を含めた人知を超えたものの中で、また、あらゆるもののいのちの繋がりの中で、この私のいのちが生かされているのであり、私ひとりの力で生きていくのではないという考えの下、狭く急峻な国土で助け合いながら暮らして来たのです。こうして神事や仏事が執り行われ、それらを基にした祭や風習が脈々と受け継がれて来ました。日本という素晴らしい国を護り、これらを決して絶やすこと無く次世代へ繋げてゆくことが、今生かされている私たちの使命でしょう。

合掌

どうしたらどん底から立ち上がる力を得ることができますか？ 人は死んだらどうなるのですか？ お経は何のために唱えるのですか？

仏教、浄土真宗に対する素朴な疑問から仏教の本質に迫る質問まで、読者に寄り添いながら一問一答形式でわかりやすく答える。是非ご購入ください。

困難な状況の中で本書が発刊されます。それが、私たち僧侶自身にとっても、そして、現代に生きる一人ひとりの方にとっても、み教えに触れる機会になり、すべての人々が心豊かに共に生きることのできる社会の実現の機縁となりますことを心から願っています。本書「お伝えしたいこと」序文にか



は、江戸時代の彫刻職人 左甚五郎の作と伝えられています。夜になると門から抜け出して飛び回り、鳴いて騒ぐので、その首が切り落とされたと言われています。また、何故かこの唐門には鳥が巣を作らず、蜘蛛も巣を張らないとも言われています。これは八坂神社の西門などに残されている言い伝えと同じものですが、邪悪とされる蜘蛛を寄せ付けないように護つて



境内の南、北小路通に面した所に、「唐門」と呼ばれる桃山時代の豪華な装飾が施された立派な門があります。国宝にも指定されている唐門は、檜皮葺き・唐破風の四脚門で、伏見城の遺構だとされています。この門からも、西本願寺が豊臣秀吉の影響を強く受けていることがわかります。天正十九（一五九一）年、西本願寺は秀吉により寺地の寄進を受け、大坂天満から現在の堀川六条に寺基を移転したのです。門の装飾は本当に見事で、細部にわたる彫刻には思わず魅入ってしまうのですが、その彫刻を丹念に眺めていると、時が経つのも忘れ日が暮れてしまうことから、「日暮門」という異名もあります。この唐門にはいくつもの言い伝えがあります。門に彫刻された鶴

令和版
仏の教え
 阿彌陀さまに
 おまかせして
 生きる
 大谷光淳
 著

すべてが
 当たり前でなく、
 ありがたい
 人生は苦の連続なれど、
 必ず道は照らされる

親鸞聖人の
 血脈を継ぐ
 者だけが深く
 新しい日常に
 向き合うヒント

B6変形 並製236ページ
 定価(本体1300円+税)

すべてが当たり前でなく、ありがたい

念仏者がお念仏とともに生きていくということは、そのまま自分以外の誰かのために、具体的な行動をとらなうということですか。「誰か」とは、家族かもしれません。友人、知人、あるいは出会ったこともない人かもしれません。「具体的な行動」とは、多くの人のつながりを感じ、相手を思いやってその時々状況に応じて行動することです。大事なことは、ほんの些細なことであつたとしても、それが阿彌陀さまのお心にかなう生き方かどうかを確かめながら、できることを具体的に考え、行動していくことでしょう。

令和版
仏の教え
 阿彌陀さまに
 おまかせして
 生きる
 浄土真宗本願寺派 第25代門主
 大谷光淳 著

西本願寺の七不思議 唐門 その二